

あなたの声を...

くら

第64号

2015年11月

議会だより



写真：西保育センター運動会

◎審議内容	2
◎予算・決算常任委員会報告	4
◎監査委員決算意見書	6
◎常任委員会研修報告	7
◎一般質問	8
◎町の元気もの	14



甲良町のキャラクター
ココラちゃん

平成26年度一般会計・水道会計決算不認定 平成27年度一般会計補正予算否決

健全化判断比率	平成 26 年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	黒字につき生じず	15.0%
②連結実質赤字比率	同上	20.0%
③実質公債費比率	11.8%	25.0%
④将来負担比率	18.9%	350.0%

○財政健全化判断比率

報告(3件)

審議内容

27年9月定例会は、9月4日から18日までの15日間の会期で開催し、報告3件、認定10件、議案8件、同意2件、発議3件、その他2件が提出された。
審査の結果、一般会計と水道会計決算は不認定となり、一般会計補正予算は否決、他はいずれも可決した。
一般質問は、4日と7日に6人が行った。

審議内容

○下水道会計資金不足比率

黒字につき比率は算出されない。

○水道会計資金不足比率

黒字につき比率は算出されない。

認定
(26年度決算10件)

○一般会計

歳入決算額

36億2035万円

歳出決算額

35億2079万円

賛成

(阪東、木村、藤堂丸山恵)

反対

(山田、野瀬、西川、濱野、丸山光、金澤、西澤)

○国民健康保険会計

歳入決算額

9億8768万円

歳出決算額

9億4335万円

賛成

(山田、阪東、野瀬、西川、濱野、木村、藤堂、丸山恵、金澤)

反対

(丸山光、西澤)

○下水道会計

歳入決算額

4億3030万円

歳出決算額

4億2814万円

賛成全員

○住宅新築資金等貸付会計

歳入決算額

2598万円

歳出決算額

2598万円

賛成全員

歳出決算額

2598万円

賛成

(山田、阪東、野瀬、西川、濱野、木村、藤堂、丸山恵、金澤)

反対

(丸山光、西澤)

○土地取得造成会計

歳入決算額

939万円

歳出決算額

939万円

賛成

(山田、阪東、野瀬、西川、濱野、木村、藤堂、丸山恵、金澤)

反対

(丸山光、西澤)

○墓地公園会計

歳入決算額

113万円

歳出決算額

113万円

賛成全員

○介護保険会計

歳入決算額

7億6252万円

歳出決算額

7億5020万円

賛成

(山田、阪東、野瀬、西川、濱野、木村、藤堂、丸山恵、金澤)

反対

(丸山光、西澤)

○後期高齢者医療会計

歳入決算額

6591万円

歳出決算額

6591万円

賛成

(山田、阪東、野瀬、西川、濱野、木村、藤堂、丸山恵)

反対

(丸山光、金澤、西澤)

○せせらぎの里こうら会計

歳入決算額

1億7646万円

歳出決算額

1億7646万円

賛成

(阪東、野瀬、西川、濱野、丸山光、木村、藤堂、丸山恵、金澤、西澤)

反対

(山田)

○水道会計決算並びに事業報告

歳入決算額

2億697万円

歳出決算額

1億9850万円

賛成

(阪東、木村、藤堂、丸山恵)

反対

(山田、野瀬、西川、濱野、丸山光、金澤、西澤)

議案(8件)

○手数料徴収条例の一部改正

住民基本台帳カード交付手数料の項を削り、通知カードの再交付1枚につき500円、個人番号

カードの再交付1枚につき800円を加える。

賛成

(山田、阪東、野瀬、西川、濱野、木村、藤堂、丸山恵)

反対

(丸山光、金澤、西澤)

○個人情報保護条例の一部改正

個人情報番号カード制度導入に伴う所要の改正。

賛成

(山田、阪東、野瀬、西川、濱野、木村、藤堂、丸山恵)

反対

(丸山光、金澤、西澤)

○情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正

特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に規定する特定個人情報保護評価について意見を述べることを加える。

賛成

(山田、阪東、野瀬、西川、濱野、木村、藤堂、丸山恵)

賛成

反対

(丸山光、金澤、西澤)

○一般会計補正予算

9348万円追加

賛成

(阪東、木村、藤堂、丸山恵)

反対

(山田、野瀬、西川、濱野、丸山光、金澤、西澤)

○国民健康保険会計補正予算

4628万円追加

賛成全員

○下水道会計補正予算

297万円追加

賛成全員

○墓地区画会計補正予算

34万円追加

賛成全員

○介護保険会計補正予算

1233万円追加

賛成全員

発議(3件)

○一般会計補正予算修正案

防災費2000万円を減額する修正案。

賛成

(山田、野瀬、西川、濱野、丸山光、金澤、西澤)

反対

(阪東、木村、藤堂、丸山恵)

○修正案可決後の一般会計補正予算

賛成

(山田、野瀬、西川、濱野、丸山光、木村、藤堂、丸山恵、金澤、西澤)

反対

(阪東)

○一般会計補正予算修正案の再議

賛成

(山田、野瀬、西川、濱野、丸山光、金澤、西澤)

反対

(阪東、木村、藤堂、丸山恵)

※防災費削減の補正予算修正案が可決されたため、町長から再議が提出された。再議では2/3以上の賛成者がなかったため、一般会計補正予算の修正案は廃案となり、再度、補正予算の採決をした結果、否決された。

○議事会議規則の一部改正

出席のための議会欠席届について規定。

賛成全員

(山田、野瀬、西川、濱野、丸山光、金澤、西澤)

○プレミアム付商品券交付事業調査特別委員会設置に関する決議(案)

名称

甲良町プレミアム付商品券交付事業調査特別委員会

目的

プレミアム付商品券交付事業は、地域経済の活性化と地域住民に広く効果をもたらすものでなければならぬ。にも拘わらず、公平・公正な運用から外れた事実が報告され、9月議会の一般質問および審議で指摘された。町民の付託に応えるべく、かかる事実の真相を解明し、当交付事業を検証する。

○公平委員会委員の選任同意

片岡佐一氏(金屋)

賛成全員

臨時会(10月6日)

○一般会計補正予算

7348万円追加

9月議会の補正予算(案)から防災費を削除。

賛成全員

委員定数

議長を除く全議員

賛成

(山田、野瀬、西川、濱野、丸山光、金澤、西澤)

反対

(阪東、木村、藤堂、丸山恵)

同意(2件)

○教育長の任命同意

橋本悟氏(長寺東)

賛成全員

○公平委員会委員の選任同意

片岡佐一氏(金屋)

賛成全員

予算決算常任委員会審査報告

委員会に付託された一般会計・特別会計の26年度決算認定10件のうち、認定8件、不認定2件（一般会計・水道会計）。審査経過（抜粋・要約）は次のとおり。

9月8・9日

一般会計

【歳入の部】

Q 町税の滞納実態をどう考えるか。

A 納税者に理解を求め対応していく。8月から県の収納促進チームと共同徴収する。

Q 法人税未納の内訳は。

A 未納は3社で約80万円。1社は本町から撤退しており、1社は現在完納となっている。

Q 住宅使用料の収入未済の内容は。

A 高齢化や生活困窮によるもので総数57件。

Q 学校給食費の収入未済額が激増しているが、その原因は。

A 生活困窮などもあるが、経験のない臨時職員が事務を行ったため。今後は、滞納の減少に努めたい。

※ 全体に滞納額は年々増加しており、町財政を圧迫している。町長をはじめ徴収対策本部の体制を強化し、町をあげて徴収に取り組むこと。また、町税等の滞納者には、補助事業などの施策にペナルティを課すなど、厳しい対応も検討するよう指摘があった。

【歳出の部】

Q ふるさと納税の返礼品とした甲良米の調達金額は、JAの1等米買取価格1俵8600円に対し、町の買取価格16000円は高すぎでは。

また、生産者への情報発信は公平にされたか。

A 予想以上の申し込みがあり、早急に110tの甲良米を確保する必要があったため、道の駅の会員に協力願った。調達価格については、消費者が求める市場価格より、少し低い価格を設定した。

Q 老人福祉費の長寿祝金の内訳は。

A 100歳の方に10万円を1人、88歳の方に1万円を59人に支給した。

Q 民生児童委員費の不用額の内容は。

A 定数24人に対し、23人が活動しており、欠員分が不用額になった。

Q 太陽光発電設備設置補助事業の件数および限度額の引上げをしては。

A 新築2件、リフォーム4件であり、限度額の引上げは、考えていない。

Q 農業振興費のせせらぎの味特産品開発事業補助金5万円は少額では。

A 試作品の開発を行って、道の駅に出荷し、市場評価を受け商品化できるものであれば、国の6次産業の補助を受けてもらう。

Q 住宅リフォーム補助事業は、工事に多額の費用がかかり、検討にも時間がかかるため、受付期間を延長しては。

A 申請受付期間は、1か月間のままであるが、

制度の住民周知を早い段階から行いたい。

Q 滞納のある公営住宅に対する修繕は。

A 原則、滞納があれば修繕は行わないが、生活に支障をきたす場合は、分納誓約や一部入金後に修繕を行う。

Q 児童虐待をはじめとする養育に課題のある家庭の支援には、専門職が必要と思うが。

A 現在は、湖東健康福祉事務所の社会福祉士等で対応しているが、児童虐待等の早期発見・対応のため、臨床心理士や精神保健福祉士等の専門職が必要。

現在、湖東健康福祉事務所の社会福祉士等で対応しているが、児童虐待等の早期発見・対応のため、臨床心理士や精神保健福祉士等の専門職が必要。

特別会計・企業会計

◎国民健康保険

Q 特定健診の本町の受診率は。

A 県内最高の56%。

Q 健康なまちづくりを進めるための課題は。

A 保健師と連携を取り、住民の健康保持増進のため、27年度はデータヘルス計画の分析に基づき、医療的課題を明確にし、効率的な保健事業を行う。

◎下水道

Q 本町の水洗化率は、他市町に比べると低いが、もっとPRが必要では。

A 今後、区長を通じたPRや広報等により更なる周知を行い、水洗化率の向上に努めたい。

◎住宅新築資金貸付

Q 収入未済額は約1億6千万円あり、町全体の滞納額の46%を占めている。滞納額についてどう考えるか。

A 督促や催告通知、保証人への通知、裁判所を通じた支払督促等をこまめに行い、滞納額減少に努めたい。

- ◎今後、全額償還されれば、一般会計へ繰り出しでける金額はいくらか。
Q 約7600万円繰り出している。
A ◎土地取得造成
Q 26年度末の保有数および保有面積は。
A 19か所、約7300㎡。
◎墓地公園
特に質疑はなかった。
◎介護保険
Q 第6期介護保険事業計画が策定されたが、介護保険を使わず健康で暮らせる取り組みの視点は。
A 健康増進や予防事業を重点に、元気な高齢者づくりを行い、要介護状態になる方を減らしたい。
◎不納欠損を行った33件の特別徴収・普通徴収の割合および今後の徴収への取り組みは。
A 全て普通徴収の方であり、新規滞納者を増やさないよう、早い段階での対応や制度理解への丁寧な対応をしたい。
◎後期高齢者医療
Q 滋賀県後期高齢者医療広域連合により事業を行っているが、広域で行うメリットは。
A 資格や給付等の事務の簡素化ができ、増加する医療費を広域的に対応できる。
◎せせらぎの里こうら
Q 4月から指定管理業者に運営が移行したが、農業・地域振興について、指定管理業者との連携が重要だと思うが。
A 安定した経営が行えるよう、指定管理業者や生産者組合との連携を密にし、販売促進や農業振興等の支援に努めたい。
◎水道
Q 収入未済額が約4400万円計上されているが、その件数は。また、給水停止等の処分は行ったか。
A 26年度末の滞納件数は256件であり、給水停止は行っていない。監査委員の指摘もあり、給水停止基準の見直しを行い、27年10月以降、滞納者には催告や給水停止通知等の段階を経て、給水停止等を行っていききたい。
※ 早急かつ積極的な盗水疑惑の解決、滞納額の減少、有収率の向上に取り組むことが、健全な水道行政を運営するためには不可欠であり、町の使命である。このことを十分認識して、健全な水道行政の運営に取り組むよう指摘があった。

決 算 審 査 の 結 果

事件の番号	件 名	審査の結果
認定第1号	一般会計歳入歳出決算認定	不認定
認定第2号	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定
認定第3号	下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定
認定第4号	住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定
認定第5号	土地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定
認定第6号	墓地公園事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定
認定第7号	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定
認定第8号	後期高齢者医療地型特別会計歳入歳出決算認定	認 定
認定第9号	せせらぎの里こうら運営事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定
認定第10号	水道事業会計歳入歳出決算並びに事業報告の認定	不認定

26年度歳入歳出決算審査意見書

27年7月23日・24日・31日の3日間にわたり26年度の一般会計および特別会計・企業会計の歳入歳出の審査を行った。

(意見書は抜粋・要約)
監査委員

上野 安德 氏
木村 修 氏

研究されると共に、法に基づいた強固な滞納整理の執行をされたい。

一般会計

【歳入】

町税において、地方税法に基づいた多額の不納欠損処理が行われているが、滞納額は増加しており、社会状況の悪化等厳しい面もあるが、より一層徴収努力をされたい。

学校給食費や保育料、住宅使用料は、利用者負担が原則であり、公平性を確保するため、積極的かつこまめな徴収事務に努められたい。

また、庁内横断組織である徴収対策本部において、効果的な収納対策を

【歳出】

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は99%で、前年度と比べて5.1ポイント高くなっており、本町は危機的状況にあると言わざるを得ない。生活に身近な分野の重点施策を選定し、「歳入に見合った歳出を原則に」効率的な財源配分や人件費の削減、不要不急の事業見直し等、歳出削減に職員が一丸となって取り組まれたい。

特別会計・企業会計

◎国民健康保険会計

公平な医療を受けるための必要な負担であることとを周知し、他の保険制度加入者に不公平とならないよう、収納率の向上に取り組まれたい。

病気の早期発見、早期治療のため、健康づくりを支援し、医療費の適正化及び抑制に努めること。

◎下水道会計

汚水桝の新規申込時には、申請と同時に受益者分担金を徴収できるように、前納一括方式へ条例等の改正を行われたい。

上位滞納者には、法的措置など実効ある滞納整理に取り組まれたい。

◎住宅新築資金貸付会計

不景気や償還者の高齢化等により、償還が進んでいない。法的措置を取るなど強固な姿勢で収納率の向上に努力されたい。

◎土地取得造成会計

未処分の町有地については、地籍調査業務と連携し、現況把握を行うと共に、管理の強化を図り、現状の回復・改善に努められたい。

◎土地取得造成会計

187区画の残が早期に処分できるよう、町内外を問わず販売の促進に努められたい。

◎介護保険会計

健全な運営と適切な介護サービス等の提供に努められたい。不納欠損額は前年度より増加してい

結論

る。安易な不納欠損を行わず、法律に基づいた事務処理を確実にし、悪質滞納者には差押え等の強固な姿勢で臨まれたい。

◎後期高齢者医療会計

今後とも納付義務の十分な理解と新たな滞納者を出さないよう初期段階での対応に努め、更に滞納が増加しないよう徴収に努められたい。

◎せりぎの里のりんぎん会計

26年度末で指定管理業者へ委託したため、会計閉鎖となった。

◎水道会計

悪質な滞納者へは給水停止処分など毅然とした対応をするため、早急に給水停止処分基準の見直しを行い、徴収効果の向上に努められたい。

歳入歳出決算について審査した結果、決算の計数は正確であり、予算の執行および財産の管理は、適正に処理されていると認められた。

町税や交付税が大幅に減収したが、事務事業の見直しや経費の削減に努めたことは評価したい。

町税や使用料、保険料や貸付金は、町財政における貴重な財源である。公平公正な徴収の認識のもと、実効ある徴収業務に取り組み、更には、町税等に滞納がある場合は、一般施策等の補助事業にペナルティを課すことも検討されたい。

財政危機を回避するため、町政全般にわたり無駄のないよう、合理化と経費の節減に努められることを切望して、26年度決算審査の意見の結びとする。

常任委員会合同

人口減少問題に取り組む、先進地を視察

10月1・2日

総務民生および産業建設文教常任委員会は、合同で「人口減少対策」の研修を深めようと、甲良町と共通した課題に取り組む自治体の行政視察を行いました。その概略・一例を報告します。

兵庫県 佐用町

佐用町の定住対策は、
①住まいの支援 ②子育て支援 ③外出支援 ④就職支援。

キャッチフレーズに、宿泊施設の一室を町が借り上げ、定住・観光促進のための滞在型体験事業を展開。

「住まいの支援」では、

◆「町営住宅入居のための収入基準を緩和」では23団地458戸、公営住宅385戸、入居率は91%で新婚世帯・子育て世帯を対象。◆空き家バンクによる空き家・空き地を紹介。田舎暮らし「多自然居住支援サイト」を立ち上げ、情報提供とオーナーの相談体制。



「子育て支援」では、給食費の半額を負担し、保護者の負担を軽減。◆保育園・幼稚園・学童保育の第2子以降は免除。◆出産祝い金5万円を支給。その他きめ細かな施策が実施されており、これらの総額約1億9千万円を投入している。感心したのは町営住宅の滞納はほとんどなく、現年度94%の収納率で生活困窮者には丁寧な納付指導をされていることであつた。

兵庫県 多可町

多可町は定住促進および空き家対策等の住宅施策を展開。◆宅地分譲若者世帯支援では、新婚世帯30万円、子育て世帯は子どもの人数により10万～50万円の助成。◆住宅新築助成では、経費の5%（上限50万円）。

また、兵庫県とタイアップして「人生80年いきいき住宅助成事業」を展開。一定の要件を満たした改修工事を助成するもので、一般型・特別型とも工事費の3分の1（上限100万円）、増築型は上限150万円。さらに、創生総合戦略において「きらり輝くプラチナ戦略」と銘打ち「選べるまち・選ばれるまち・多可町をめざす」を掲げるとのこと。

「日本一の酒米」山田錦の中町、「日本一の手すき和紙」杉原紙の加美町、「敬老の日発祥の地」の八千代町が合併。それぞれが誇りにしているまち、それが多可町だと。



しかし、減少傾向は深刻であるため、今後展開する本格的な「戦略」を定められた。その一部を紹介すると、◆「女性から選ばれるまち」として、子ども医療費助成の充実、保育料の減免、結婚サポートなど。◆「健康と交流と安心・安全の魅力で選ばれるまち」では、ラベンダーパークの活用やウォーキングコースの整備などを進められている。

兵庫県神戸市 人と未来 防災センター

今回の行政視察で学んだ教訓を生かすため、まさに議会人として、積極的に政策提言を行うとともに、町民の声を聴き一つ一つの施策に反映させることが求められている。

一般質問

町政のここが 知りたい！聞きたい！

Q & A



阪東 佐智男 議員

防犯灯設置促進事業の 進捗状況は

Q 各字の防犯灯の総数を今回のLEDの助成に合わせ、把握するとのことであったが、町全体で改修を必要とする数は

A 総務課長

各字管理分は町全体で840灯。その内、既にLED化が実施されたものを除くと、改修が必要な数は730灯余り。



LED化された防犯灯

認知症予防カフェの取り組みは

Q 今年度予算で100万円計上され、3年をめぐに事業を執行されるが、1灯につき1万円の助成で7年以上かかる計算になり、補正予算計上が必要と思うが。また、公平性を期すために、町長の任期中に全て改修する姿勢が必要と考えるが。

A 総務課長

金額はおおよそ600万円程度必要で、現在改修の進捗率は35%程度。3年以内をめどに予算化した。

Q 団塊の世代が75歳になる10年後、5人に1人が認知症になると厚生労働省が推計している。その対策の1つの柱である認知症カフェの活動の程度等、本町の取り組み状況は。

A 保健福祉課長

昨年10月から月1回、グループホームらしくらく内で、第3火曜日の10時30分から15時まで活動。



空き家の基準・定義は

Q 今年5月に全面施行された、空き家対策特別措置法で、危険な空き家の所有者に対して市町村が改修などを勧告し、最終的には行政代執行という撤去に踏み切ることが認められた。

A 建設水道課長

町は空き家の判断基準また、定義についてどのように定めているか。

空き家対策特別措置法では空き家等の定義は建築物またはこれに付随する工作物であつて、居住その他の使用が1年以上ないものおよびその敷地をいうと定義づけている。その中で倒壊など、著しく保安上危険となるおそれのある状態、また衛生上有害となるおそれのある状態、また適切な管理が行われないことにより、景観を損なっている状態、その他周辺の生活環境の保全を図るために、放置することが不適切な状態にある空き家を特定空き家と定めている。

条例等、町で定めるところまで至っていないので、今後検討したい。

Q 企画、運営の検討メンバーは。

佐、尼子の民生委員、キャラバンメイト代表、社会福祉協議会代表、地域包括代表、らくらく施設代表、聖泉大学の講師。

A 保健福祉課長

検討委員会は豊郷病院介護事業部の統轄所長補

また、企画運営会議には湖東健康福祉事務所の保健師、湖東地域リハビリテーションの理学療法士、聖泉大学の講師、地域包括の管理者、らくらくの管理者、けやき・らくらくの所長等が入り、内容の検討をしている。

【その他の質問】

◆災害時の要援護者登録について

◆マイナンバー導入体制について

◆地方創生の対応状況は

一般質問

町政のここが 知りたい！聞きたい！

Q & A



濱野 圭市 議員

人口減少を見据えた町の戦略を問う

若者や子育て

世代の支援
(保育料無料化等)

Q 少子化を食い止めることは、人口減少の重要な課題である。若い世代が子育てしやすい環境づくりが大切である。町民の意見なので抽象的だが、町の印象が悪い等の意見が多い。保育料の無料化等の目玉的な施策を形にしてはどうか。現在、年間保育料はいくら位かかっているのか。

A 教育次長

保育園については、保育料3592万円、バス代35万円。幼稚園については、使用料503万円、給食代241万円、バス代62万円、合計4433万円。

※年間4400万円の費用がかかり、少子化を食い止める投資として必要だが、財政的に厳しいと思う。滞納状況を見ても

色々事情はあるが、保育料滞納360万円、給食費滞納140万円がある。

若い世代の家計が苦しいのが伺える。若い方を支援する意味でも保育料無料化を、できなければ段階を踏んでの施策をお願いする。

移住・定住の支援
(固定資産税減税等)

Q 多賀、豊郷では分譲地があるが甲良には無い。行政と民間が連携し、用地確保が必要では。

A 企画監理課長

検討をしなければならぬと考える。

Q 定住支援の1つとして、建物を取得した場合、土地建物の固定資産税を減免してはどうか。

A 税務課長

3年間は、新築軽減で半額である。用地確保等

の問題とリンクして考える必要があるが、税の中立性、税の確保も総合的に考える必要がある。※若い方が厳しい中で家を建てておられる。税制面で優遇されるよう考えてほしい。

目指す将来像、
近隣との合併は

Q 25年後には約4000人、45年後には3000人の人口と推測され、本町が消滅すると発表された。今後町の人口減少に対する施策が注目されている。町長としてどう考えているか。また、中長期的に近隣との合併など将来像を問う。

A 町長

住む場所の確保が必要である。優良農地の転用や大林組から寄贈の土地に企業誘致も考えている。子育て、医療、人権問題も含め教育の充実を図り、本町に住みたいと言って

上下水道の健全運営について

Q 呉竹地先にて、以前官地に宅内桝が設置されていたが、町の対応は。

A 建設水道課長

桝設置にあたっては申し出を信用して施工した。確認せずに設置したのが原因。地籍調査で判明した。町民に対し理解して頂くよう謝罪もしていきたい。

※人口減少問題は町の一番大きな課題である。待ったなしで本町の再生に向け一丸となって取り組んでもらいたい。防災センター建設の議論もあるが、人口問題と十分すり合せしながら検討すべきである。

Q 盗水調査、職員および議員の調査の状況は。

A 総務課長

公務員法上、職員の同意書の提出を求める職務命令は難しい。

Q 水道料金滞納が4400万円。未だに盗水問題が解決できず、尋常ではない状態である。徹底した対策をしてほしい。

A 建設水道課長

今後、漏水調査実施および長期放水など指摘されたこと等対策を立てていく。



一般質問

町政のここが 知りたい！聞きたい！

Q & A



野瀬 欣廣 議員

プレミアム商品券 の販売方法を問う

Q プレミアム商品券は何冊用意されていたか。

A 産業課長

4000冊を用意し、7日間で完売した。

Q 誰が何冊購入したか、記録はあるか。

A 産業課長

名前のチェックなど、記録はしていない。

Q 事前のチラシで1人2冊までと制限があったが、この制限解除のアナウンスがないまま、2冊以上の販売があったと聞いている。どのような経緯でこの2冊の制限を解除したのか。

A 産業課長

1人2冊までというのとで、最後までその方針で販売を行った。

Q 私が購入したときに、2冊以上購入されている

プレミアム商品券販売チラシ（※既に完売）

のを見ているが、本当に2冊以上の販売はなかったのか。

A 産業課長

購入記録等がないので把握できない。

Q このような事業では、行政は平等でなくては行けないと考えるが、10万円以上購入した人がいると聞いている。金額と人数を明示して欲しい。

A 産業課長

把握していない。

Q 議員・職員等関係者はこのような状況では高額購入は遠慮すべきと考えるが、そのような人はいなかったのか。

A 産業課長

把握できていない。

Q 昨年のふるさと納税の商品のお米についても町内より不公平というかなり強い疑念を持たれている。今回は、1人2冊以上の販売はなかったという認識か。

A 産業課長

把握できていない。

※プレミアム商品券販売事業は、名前が控えられていないということでは明らかにはなっていないが、非常に不公平感がある。一部の町民のみが利益を享受することがなく、公平な町事業を強く求める。

犬上川・犬上ダムの改善を問う

Q 大雨のとき犬上川の中の雑木が堤防決壊の引き金になるかもしれない。県の伐採計画の状況は。

A 建設水道課長

途中で止まっているが県からは「年内に測量を終えて、決定したい金屋の方に向かって着工する」との回答があった。

A 産業課長

昨年度より、老朽した犬上川ダムの施設の補修、改修等を検討する「犬上川地区アセットマネジメント技術検討会」が発足した。町も参画しているのでこの中で検討したい。

【その他の質問】

◆マイナンバー制度について

◆滋賀国体の協力体制について

◆全国学力テストの結果



福寿橋より上流側

Q 近年犬上ダムの貯水量が減少し、番水の状態が続いている。土砂の流入によりどのくらいの減少になっているのか。

A 産業課長

土地改良区によると、

一般質問

町政のここが 知りたい！聞きたい！

Q & A



西川 誠一 議員

プレミアム商品券 の取り扱い

Q 予約販売や体の不自由な人への配慮はしたのか。また、何人に販売し、全員が町内の人か。

A 産業課長

直接販売所に来られた方に販売した。正確な購入者数は記録していないが、町外の方も数名いた。

Q 大量買いをした人がいると聞けど、特別職や議員、行政職への特別枠があったのか。公平性は保たれているのか。茨城県常陸太田市では75万円分購入した市議会議員が議員辞職しているが。

A 産業課長

そのような枠はない。今後の販売については、重々注意したい。

ふるさと納税は好調か

Q 今年度分の状況はどうか。返礼品の人気度は。

A 企画監理課長

8月27日現在で申込者1375人、金額は2372万円。返礼品の人気度は米963人、肉332人、その他80人。

Q 返礼品納入にあたって、不公平にならないよう町民への説明はどのようにしたのか。

A 企画監理課長

米は4月に区長・農業

Q 酒は町内産ではないが理由は何か。

A 企画監理課長

近江の地酒ということであつて、不公平にならないよう町民への説明はどのようにしたのか。

盗水調査の 第二弾報告を 受けて

Q 有収率は21年度91.8%であり、26年度の率と比較すると1400万円の水が盗水されていることになる。町はこのまま放置するのか。盗水委員会の決議書を職員に配布したか。

A 総務課長

有収率の向上に向け、努力している。決議書は全職員には配布していない。

Q 議員宅の報告書の提出を求めているが。

A 建設水道課長

調査はしたが報告書は作成していない。

※後日の提出を求める。盗水問題を解決しなくては、行政が進めている人口減少問題の明るい方向性は見えないと思う。

獣害の効果的な 対策を

Q サル、カラス、ハクビシンによる農作物被害が続出している。ソーラーパネルに野菜屑を放置するなどの被害もある。花火や爆竹以外に一歩進んだ対策ができないか。

A 産業課長

猟友会での駆除をするにも金屋地区住居近くでは銃器で撃つことはできない。花火等での追い払いを継続していただきたい。県も色々試している。良い方法があればそれで駆除したい。

忠霊塔維持整備は

Q 6月議会で提案したが進捗状況はどうか。

A 保健福祉課長

遺族会長より要望書が提出された。（塔の老朽化対策、樹木伐採処理対策、敷地利用活用検討依頼の3点）遺族会で決定された内容に沿って町は協力すると回答。

Q 霊園は町の資産か。

A 保健福祉課長

土地の約半分495㎡が農水省の土地となっている。現在、国から払下げの意向があり、県を通じて話を進める。

企業誘致の現状は

Q 大林組寄贈土地の活用について、国の機関誘致を考えていないか。

A 町長

今は国の機関は考えていない。現在MKコンサルに委託して、土地利用計画の作成を依頼中。企業誘致を大前提に特に製造業の誘致に取り組む。

【その他の質問】

◆犬上川左岸の整備

一般質問

町政のここが 知りたい！聞きたい！

Q & A



西澤 伸明 議員

「人口減少問題」から見える甲良町政の課題に対応を

Q 人口減少問題は、日

本社会と経済、政治のあり方の根本問題を鋭く突きつけている。この問題

の背景にあるのは、暮らしの原点を支える労働者の雇用、賃金、人間らしく働けるルールの欠如、

出産、育児、保育、学校教育など、子育て環境における経済的高負担、農山村漁村においては、食料自給率の極端な低下、

木材輸入の増大など、極端な大企業中心の構造改革路線の帰結と見なければならぬと思う。なぜなら、これらは大企業の

内部留保が300兆円に迫り富を増大させている一方で、年間所得が200万円にも満たない国民が1千万人を超す派遣社員ほか非正規雇用が蔓延しているなど現実に起きている事実から言えることである。だから、日本

社会に蔓延するルールなき経済社会を根本から改めることが求められていると私たちは考える。

ところが、安倍内閣が進める地方再生は、この根本原因を真面目に検証することなく、さらなる地方間の競争をあおるものと批判を浴びている。

人口減少問題の根本を見据えながらも、その根本原因が本町でどのようにあらわれているか、町独自の課題はどこにあるか、丁寧な検証と論議が必要だと考えている。

1つ目は、戦略推進委員会の議論、結論を尊重しながらも、町行政として重要な問題での分析が必要だ。人口減少によって失われるものが何なのか、背景は何か、全国的な傾向と町独自の課題など、現時点でどのような認識に立っているのか。

まず、人口減少により失われるもので、全国的な傾向は、自治会機能や地域の活力の低下、労働力不足による産業構造の変化、公共施設の統廃合、空き家の対策などである。

町の課題としては、自治会機能や地域活力の低下、空き家の問題、住宅地の確保が困難な問題などである。

Q 戦略会議を傍聴しているが、委員の皆さん、非常に熱心に議論され、学ぶべき点が多いと思っている。8月26日に示された人口ビジョンの中に人口の激減が続けてきた背景や原因、それへの対応についての総括・検証が全くとっていいほど欠落しているのではないか。

A 企画監理課長
人口ビジョン作成の中

A 企画監理課長

で、課題を4つ整理している。重点課題で、未婚化、出生率の低迷による継続的な人口減少など、住宅、住宅用地の不足による子育て世帯の流出など。それに基づきめざすべき方向、解決する基本視点を3つ挙げている。

Q 人口ビジョンという25年後に人口5000人目標の設定は、現在の約7500人から減少する目標となり、大変消極的、あきらめにも見えるが。

A 企画監理課長
人口は、国全体でも減っており、人口問題研究所が4600人、創生会議が4000人を切る推計をしている。そこで人口問題研究所の推計を採用し、毎月1家族ずつぐらい減り方を抑える施策を実施し、25年後に5000人と設定した。

◆人口減少対策では、広く住民の参加、戦略会議の結論を待つまでもなく「子育て応援」の充実などを提起

◆道の駅・直売所の設置目的に沿って指定管理者への指導を

◆町民とのトラブルでは「全体の奉仕者」をつらぬくこと

◆大林組から寄付を受けた山林の利用について



【その他の質問】

◆人口減少対策では、広く住民の参加、戦略会議の結論を待つまでもなく「子育て応援」の充実などを提起

◆道の駅・直売所の設置目的に沿って指定管理者への指導を

◆町民とのトラブルでは「全体の奉仕者」をつらぬくこと

◆大林組から寄付を受けた山林の利用について

一般質問

町政のここが 知りたい！聞きたい！

Q & A



山田 裕康 議員

道の駅せせらぎの里二つらの運営状況は

Q 指定管理業者が今年度の売上目標に掲げている、1億5100万円に對して、現在目標対比は、何%か。

A 産業課長

8月末現在の売上は、5784万円で、年間目標対比は39%。

Q 8月末の目標対比は。

A 産業課長

毎月の目標値は、もらっていないが、毎月の売上実績は、把握している。

Q 本町の農産物の栽培拡大を図るための栽培指導として、キャベツ、ブロッコリー、ジャガイモ、ニンジンなど、種や苗を配布して、販売アップと絶対量の増大を見込むとあるが、どのようになったのか。

A 産業課長

今年度は、種や苗の配布は行わず、出荷に対する姿勢、体制を整えることを優先した。

※8月末で、売上が5784万円、年間目標対比39%では、年間目標の1億5100万円を達成することは難しいと思う。
指定管理業者と行政の連携が全然できておらず、私の一般質問に答えられないようなことでは、いけないので、しっかりと連携を密にしてほしい。

ふるさと納税の 現在の状況は

Q 今年度の申込み状況は、金額ベースで、どのようになっているのか。

A 企画監理課長

申込者は1375人で、2372万円。

Q 選べる特産品の甲良米・びわ湖産湖魚佃煮・こうらの天然水・長寿金亀・近江牛の申込み割合は。

A 企画監理課長

甲良米が963、近江牛が332、こうらの天然水が35、長寿金亀が2、その他43。

※昨年は、公平性に欠けるとして、苦情が寄せられた。
今後、このようなことがないように、しっかりと行ってほしい。

いじめ対策を問う

Q いじめを苦に、電車に飛び込むという新聞記事をよく見かけるが、町においては、いじめの報告は、何件か。

A 学校教育課長

いじめの認知件数は、小学校では、26年度は0件、27年度8月末で1件。中学校では、26年度は2件、27年度8月末で1件。

Q いじめ被害者の心のケアは。

A 学校教育課長

小学校では、二度と起こらないよう、休み時間等に子供たちの見守りのために職員を廊下等に配置し、声かけなど子供たちが安心して過ごせるように努力している。

中学校では、携帯電話やLINEの使用について、保護者に協力依頼をしている。

被害生徒の様子をしっかりと見守り、声かけを行い、安心して学校生活が送れるよう努力している。

※子どもたちは町にとって宝なので、大切に育てることが大事。
有意義な学校生活を送れるよう、学校での指導、環境づくりをしっかりと行ってほしい。



東西小学校運動会の様子

こんにちは!!

「働き教育センター甲良」です



働き教育センター甲良は、学校法人関西福祉学園が運営する、就労継続支援A型事業として今年5月に開所しました。また、10月1日より就労移行支援事業も加わり、多機能型施設として、より充実をはかります。

当施設では、障害者の職業教育訓練校として、障害者の方が働き教育セ

ンター甲良と雇用契約を結び、就労をしながらコミュニケーションなどの能力を身につけ、一般就労へとステップアップしていただくことを目標としています。就労してすぐには退職してしまう方も多くなか、就労からさらには長期間の就労継続を目指し、日々作業や訓練をしています。そのため、普段の仕事に加え、

ビジネスマナーやSSTなどといった社会性や生活基礎力を高めるための訓練も行っています。また、JA東びわこジョブコンソーシアムという制度で連携をし、旧甲良西支店に事業所をかまえ、ビニールハウスなどをお借りして、現在は

利用者12名、職員9名で毎日作業を行っています。主な作業内容としては、毎月JAのお客様にお渡しする花苗を種から育てる育成管理、各支店で配布しているチラシの折り込み作業、直売所で販売するための野菜作りなどを行っています。

花苗の育成管理では、種まきから始まり、ポットへの植替え、出荷前には花苗と一緒にお渡しするチラシ作成、花苗の袋詰め、最後には各支店への出荷も全員で行っています。

JAから頂く仕事以外にも施設内清掃や地域の清掃活動、法人関係事務など、さまざまな仕事をしています。

現在では、甲良町の地域おこし協力隊の方からも農作業を依頼されており、地域の方とより密着して就労に向けて取り組んでいきたいと考えています。



編集後記

せせらぎ

9月21日から30日の秋の交通安全運動期間中は、特に安全運転を意識して運転されていましたか。

近年、交通事故は減ってきていますが、いまだに悪質な事件はテレビを賑わしています。その中でも飲酒運転に対する考え方や危険運転致死傷罪制定による厳罰化により、取り巻く社会が厳しい目にならわっているにもかかわらず、飲酒を原因とする悲惨な事件は後が絶えません。飲酒運転による事故は過失でなく、故意の事故であり、防ごうとすれば防げるものです。軽い気持ちで飲酒運転をして人生を終わらせてしまつて良いのですか。

被害者の立場に立つて、考えてみて下さい。もし突然、電話で「あなたのご家族が交通事故で亡くなりました」と言われたら・・・想像してみてください。それでも飲酒運転しますか。

甲良町役場では「飲酒運転ゼロ宣言」を行い、事故防止に努めています。みなさんの職場でもこの運動に参加してみてもいいでしょうか。職場全体で意識し合うことで飲酒運転だけでなく、交通安全全体に効果が見込めると思います。

野瀬欣廣